



学習の評価について（初等部編）

今週は、W校の「おしらせ・通知表」配付日です。補習校では、学習指導要領に基づきカリキュラムを作成し、「指導と評価の一体化」を目指して、「おしらせ・通知表」を作成しています。今週は初等部の学習と評価の関係、そして「おしらせ・通知表」の意義とあり方について簡単にご説明いたします。なお、詳細は、本日配付の『おしらせ・通知表』の見方についてをご覧ください。

<小学校学習指導要領より>

「国語」の目標（抄）→ **言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。**

※具体例・・・「第1・2学年の内容『知識及び技能』のウ」では、長音（長く伸ばす語）、拗音（「きゃ」、「きゅ」など）、促音（「きつと」、「あつ」など）、撥音（「パン」、「りんご」など）などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して分や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書く（以下略）

<解説>

小学校1・2年生で上記の学習内容を身に付けることとなっています。1年生の段階でまだできていないと悲観される必要はありません。その他に「話すこと、聞くこと、書くこと、読むこと」の各項目があげられていますので、「おしらせ」の評価規準をご確認ください。

ちなみに、小学校学年別漢字配当表では、第1学年で80字、第2学年では倍になって160字の漢字を覚えることとなっています。小学校の頃、宿題の漢字の書き取りに必死に取り組んだ経験が保護者の皆様にもおありかと思えます。学習の成果は学習時間に比例します。ローマは一日にしてならず、こつこつと取り組ませてください。



グループで話し合った事を発表しています。

「算数」の目標（抄）→ **(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。**

※具体例・・・第3学年の「内容『A数と計算、B図形、C測定、Dデータの活用』の学習では、具体的には「ア身の回りの事象を観察したり、具体物を操作したりして、数量や図形に進んで関わる活動、イ日常の事象から見いだした算数の問題を、具体物、図、数、式などを用いて解決し、結果を確かめる活動（以下略）」となっており、扱う用語、記号等は「等号、不等号、小数点、1/10の位、数直線、分母、分子、÷」となっています。

第6学年の「内容『A数と計算』では、(1)ア(イ)分数の乗法及び除法の計算ができること、(2)ア(ア)数量を表す言葉や□、△などの代わりに、a、xなどの文字を用いて式にしたり、文字に数字を当てはめて調べたりすること。（以下略）」とされています。

<解説>

もとより、算数の概念理解のためには、教科書、そして問題文を読み解く日本語力が求められます。実際の授業では、英語が主になっているお子さんには、該当用語を英語の単語で紹介し、日本語での理解を助けることも行っているところです。国語（日本語）の力をしっかり付けるようにしましょう。



音読発表会～皆の前で大きな声で（L1校）

連絡事項

補習校作文コンクールは全園児児童生徒が提出することとしています。締め切り日を過ぎても、必ず提出するよう、ご家庭でのご支援をお願い申し上げます。